



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月8日

上場会社名 株式会社テレビ朝日ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9409 URL <https://www.tv-asahihd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 早河 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長

(氏名) 小林 直治

TEL 03-6406-1115

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	227,630	0.6	9,249	△30.1	15,510	△25.5	14,751	△3.6
2023年3月期第3四半期	226,167	1.8	13,223	△19.1	20,828	0.8	15,308	8.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 21,335百万円(133.2%) 2023年3月期第3四半期 9,149百万円(△60.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	145.18	—
2023年3月期第3四半期	150.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	508,778	410,834	80.4
2023年3月期	495,123	394,763	79.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 409,084百万円 2023年3月期 393,228百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2024年3月期	—	20.00	—		
2024年3月期(予想)				30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期 期末配当金30円00銭には、特別配当10円00銭が含まれております。

2024年3月期(予想) 期末配当金30円00銭には、記念配当10円00銭が含まれております。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	303,000	△0.5	10,500	△27.6	16,500	△28.7	15,000	△9.7	147.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	108,529,000株	2023年3月期	108,529,000株
2024年3月期3Q	6,912,696株	2023年3月期	6,926,396株
2024年3月期3Q	101,610,872株	2023年3月期3Q	101,602,890株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、2024年2月8日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 9
(セグメント情報)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、雇用・所得環境の改善に伴い、一部に足踏みがみられるものの、緩やかな回復が続きました。一方、テレビ広告市況におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を下回るなど、依然として厳しい状況となりました。

このような経済状況のなか、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,276億3千万円（前年同期比+0.6%）となり、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が2,183億8千万円（同+2.6%）となりました結果、営業利益は92億4千9百万円（同△30.1%）、経常利益は155億1千万円（同△25.5%）となりました。また、特別利益において投資有価証券売却益を計上いたしました。以上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は147億5千1百万円（同△3.6%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①テレビ放送事業

タイム収入は、海外経済の下振れリスクが指摘されるなど、依然、不透明感がみられるなか、アドバタイザーの宣伝活動において固定費削減傾向が強まり、レギュラー番組のセールスでは苦戦を強いられました。また、単発番組につきましては、「世界水泳福岡2023」「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」テレビ朝日ドラマプレミアム「友情」が高額セールスに成功するものの、前年同期の「FIFAワールドカップ カタール 2022」の反動減により減収となりました。以上の結果、タイム収入合計は596億7百万円（前年同期比△2.8%）となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が前年同期を下回ったことなどから減収となりました。業種別では、「飲料・嗜好品」「交通・レジャー」「事務機器・事務用品」などが好調な一方で、「情報・通信」「出版」「官公庁・団体」などは減収となりました。以上の結果、スポット収入は644億4千9百万円（同△3.2%）となりました。

また、BS・CS収入は197億5千1百万円（同+0.9%）、番組販売収入は100億6千9百万円（同+2.7%）、その他収入は166億6千9百万円（同+4.6%）となりました。

以上により、テレビ放送事業の売上高は1,705億4千6百万円（同△1.5%）、営業費用は1,657億9千2百万円（同+0.8%）となりました結果、営業利益は47億5千3百万円（同△45.1%）となりました。

②インターネット事業

無料見逃し動画配信サービス「TVer」等における広告収入や動画配信プラットフォームへのコンテンツ販売が好調に推移したことなどにより、インターネット事業の売上高は202億7千5百万円（前年同期比+11.1%）、営業費用は189億5千万円（同+9.5%）となりました結果、営業利益は13億2千5百万円（同+41.7%）となりました。

③ショッピング事業

ショッピング事業の売上高は146億4千9百万円（前年同期比△0.8%）となりましたが、商品原価率が上昇したことなどにより営業費用は135億9千4百万円（同+0.1%）となりました結果、営業利益は10億5千5百万円（同△12.1%）となりました。

④その他事業

音楽出版事業は所属アーティストの「平井大」「ケツメイシ」及び「湘南乃風」がコンサートツアーを実施したことなどにより増収となったほか、出資映画事業やイベント事業、機器販売リース事業が増収となりました。一方、DVD販売は減収となりました。

以上により、その他事業の売上高は328億8千8百万円（前年同期比+10.9%）、営業費用は306億6千9百万円（同+12.6%）となりました結果、営業利益は22億1千8百万円（同△8.2%）となりました。

報告セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円、%表示は対前年同期増減率)

	売上高		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	
テレビ放送事業	173,200	170,546	△1.5%
インターネット事業	18,247	20,275	11.1%
ショッピング事業	14,775	14,649	△0.8%
その他事業	29,660	32,888	10.9%
調整額	△9,716	△10,730	—
合計	226,167	227,630	0.6%

(単位：百万円、%表示は対前年同期増減率)

	セグメント利益		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	
テレビ放送事業	8,659	4,753	△45.1%
インターネット事業	935	1,325	41.7%
ショッピング事業	1,200	1,055	△12.1%
その他事業	2,416	2,218	△8.2%
調整額	10	△103	—
合計	13,223	9,249	△30.1%

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比136億5千4百万円増の5,087億7千8百万円となりました。これは、現金及び預金が375億9千2百万円減少したものの、有価証券が287億9千1百万円、投資有価証券が180億5千6百万円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比24億1千6百万円減の979億4千3百万円となりました。これは、未払金や未払費用などの減少により流動負債の「その他」が28億5千8百万円減少したことなどによります。また、純資産合計は、前連結会計年度末比160億7千万円増の4,108億3千4百万円となりました。この結果、自己資本比率は80.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界的な金融引き締めに伴う影響など先行きへの不透明感により、テレビ広告市況は前年同期を下回る水準で推移しております。こうした状況のなか、テレビ放送事業におけるタイム収入、スポット収入は前回予想(2023年11月10日公表)を下回る見通しであり、2024年3月期の連結業績予想につきまして、売上高、営業利益及び経常利益は、いずれも前回予想を下回る見通しであります。

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	313,000	15,000	20,000	15,000	147.62
今回発表予想(B)	303,000	10,500	16,500	15,000	147.62
増減額(B-A)	△10,000	△4,500	△3,500	—	
増減率(%)	△3.2	△30.0	△17.5	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	304,566	14,503	23,157	16,603	163.42

※上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60,475	22,883
受取手形及び売掛金	81,796	79,666
有価証券	16,008	44,799
棚卸資産	11,146	13,083
その他	12,444	9,852
貸倒引当金	△74	△73
流動資産合計	181,797	170,211
固定資産		
有形固定資産		
土地	64,670	64,664
その他(純額)	47,037	54,536
有形固定資産合計	111,708	119,201
無形固定資産		
その他	4,892	4,479
無形固定資産合計	4,892	4,479
投資その他の資産		
投資有価証券	176,092	194,148
その他	21,198	21,282
貸倒引当金	△564	△545
投資その他の資産合計	196,725	214,885
固定資産合計	313,326	338,566
資産合計	495,123	508,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,749	10,007
その他	57,232	54,374
流動負債合計	68,982	64,381
固定負債		
退職給付に係る負債	16,965	16,721
その他	14,411	16,840
固定負債合計	31,377	33,561
負債合計	100,359	97,943

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,687	36,699
資本剰余金	70,482	70,494
利益剰余金	272,756	282,195
自己株式	△13,624	△13,598
株主資本合計	366,302	375,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,810	35,225
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	930	1,512
退職給付に係る調整累計額	△3,814	△3,443
その他の包括利益累計額合計	26,925	33,295
非支配株主持分	1,535	1,749
純資産合計	394,763	410,834
負債純資産合計	495,123	508,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	226,167	227,630
売上原価	164,862	170,886
売上総利益	61,305	56,743
販売費及び一般管理費	48,081	47,493
営業利益	13,223	9,249
営業外収益		
受取配当金	1,321	1,307
持分法による投資利益	5,935	4,768
その他	449	331
営業外収益合計	7,705	6,407
営業外費用		
為替差損	—	43
固定資産廃棄損	41	78
その他	59	24
営業外費用合計	100	146
経常利益	20,828	15,510
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,956
特別利益合計	—	4,956
税金等調整前四半期純利益	20,828	20,466
法人税等	5,409	5,500
四半期純利益	15,419	14,966
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	214
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,308	14,751

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	15,419	14,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,670	4,691
繰延ヘッジ損益	△22	—
為替換算調整勘定	168	102
退職給付に係る調整額	372	378
持分法適用会社に対する持分相当額	△118	1,196
その他の包括利益合計	△6,269	6,369
四半期包括利益	9,149	21,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,038	21,121
非支配株主に係る四半期包括利益	110	214

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	インターネット 事業	ショッピング 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	171,029	16,753	14,766	23,617	226,167	—	226,167
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,171	1,494	8	6,042	9,716	△9,716	—
計	173,200	18,247	14,775	29,660	235,883	△9,716	226,167
セグメント利益	8,659	935	1,200	2,416	13,212	10	13,223

(注) 1 セグメント利益の調整額10百万円は、セグメント間取引消去△70百万円、当社における子会社からの収入1,536百万円及び全社費用△1,455百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	インターネット 事業	ショッピング 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	168,178	18,558	14,638	26,253	227,630	—	227,630
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,368	1,716	10	6,634	10,730	△10,730	—
計	170,546	20,275	14,649	32,888	238,360	△10,730	227,630
セグメント利益	4,753	1,325	1,055	2,218	9,353	△103	9,249

(注) 1 セグメント利益の調整額△103百万円は、セグメント間取引消去△124百万円、当社における子会社からの収入1,531百万円及び全社費用△1,511百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。